

【田子町教育委員会】

校務DX計画

現在、田子町で運用している統合型校務支援システムは、令和5年7月に導入されたものであり、令和10年度に更改を予定している。県では令和7年度中の更改を予定していることから、県での更改内容を参考に町立学校の教育ネットワークについて、次世代の校務デジタル化を支える環境として再構築することを検討する。

教員の校務負担を軽減するため、統合型校務支援システムを導入したが、教員が抱えるすべての負担を改善できたわけではない。校務支援システムに備えられている各種様式機能は利用しているが、出席簿等の情報管理機能については、エクセルデータ等で管理しているものもあり、システムで管理できる校務すべてを一元化できているとは言えない状況である。

そこで文部科学省が実施した「次世代の校務デジタル化推進実証事業」の成果を基に、町立学校の校務デジタル化の実現に向け課題を整理し、校務DX化への構築を目指す。

校務デジタル化のおおよその推進課程は以下のとおりとする。Ⅰ期では、学校デジタルDXのスタートアップに係る取組を実施し、Ⅱ期では、校務支援システムの運用に係る利用環境の整備を進める。Ⅲ期では、校務系と学習系で分離している教育ネットワークの統合を図る。

I期（学校DXスタートアップ）
①生徒・保護者連絡ツール → 学校・教育委員会からの直接連絡
Ⅱ期（校務支援システム運用）
②校務支援システム（クラウド型） → 正式利用開始
③校務支援システム（WEBアプリ型） → 利用体制検討・準備
Ⅲ期（学校関係ネットワーク更改）
④ネットワーク統合 → 職員室外での校務系ネットワークの利用
その他
⑤デジタル採点システム → 業務の効率化・負担軽減

デジタル採点システム、校務支援システム（WEBアプリ型）については、デモ体験の実施及びシステム間での連携を想定しながら導入を検討する。

学校関係ネットワーク更改においては、校務系ネットワークを普通教室でも利用可能な環境にするため、学習系ネットワークと統合し無線LAN環境の利用を目標とする。

	R 6	R 7	R 8	R 9
I 期	①生徒・保護者 連絡ツール			
II 期	②校務支援システム (クラウド型) →正式利用開始	③校務支援システム (WEBアプリ型) →利用体制検討		
III 期			④ネットワーク統 合	※令和 9 年度以降 設計・構築
その他		⑤デジタル採点シ ステム	※デモ体験等によ り導入検討	